

神戸・南京をむすぶ会 <笠原十九司さん講演会>

日時:2015年12月11日(金)午後6時30分~8時30分

会場:神戸学生青年センターホール

テーマ:「海軍の日中戦争

—アジア太平洋戦争への自滅のシナリオ—

講師:都留文科大学名誉教授・笠原十九司さん

参加費:1000円(学生500円)

※事前申込不要です。

神戸・南京をむすぶ会は、1997年以降毎年、南京ともう一か所、日本軍が侵攻した現場を訪ねるフィールドワークを行っています。今年は南京と広州を訪ねました。また12月には、南京大虐殺の幸存者に来ていただいて神戸を含め全国5~6か所で証言集会を開催してきました。高齢化する幸存者の健康を考えて、昨年からは大阪、名古屋、東京三か所だけの証言集会を開くことにしました。昨年の神戸集会は、「ジョン・ラーベ～南京のシンドラー～」上映会を開催しました。

今年の神戸集会は、笠原十九司さんをお招きして講演会を開きます。笠原十九司さんは、『南京事件』(岩波新書)、『南京事件と日本人一戦争の記憶をめぐるナショナリズムとグローバリズム』(柏書房)など南京大虐殺に関する多くの著作を執筆されています。最近、『海軍の日中戦争—アジア太平洋戦争への自滅のシナリオ』(2015.6、平凡社)を出されました。東京裁判などで「海軍ニ善玉」とされてきましたが、本書でこの通説を真っ向から挑んだ書籍です。講演会では、本書のテーマでご講演をしていただきます。ふるってご参加ください。

主催:神戸・南京をむすぶ会(代表・宮内陽子 副代表・門永秀次、林伯耀)

〒657-0064 神戸市灘区山田町3-1-1 TEL 078-851-2760 FAX 078-821-5878 神戸学生青年センター内
ホームページ <http://ksyc.jp/nankin/> e-mail hida@ksyc.jp (事務局長:飛田雄一、ひだ ゆういち)

後援:神戸学生青年センター



日中戦争を対米英戦の実戦演習ととらえ、南進と大規模な空爆を決行、さらなる泥沼化を進めたのは海軍だった。国の命運より組織的利益を優先させ、ついにはアジア太平洋戦争へ。東京裁判でつくり上げられた「海軍免責論」「海軍神話」に真っ向から挑む力作。



海軍=善玉の
通説を覆す
真珠湾攻撃の
知られざる事実